

令和元年第3回智頭警察署協議会開催状況

開催日時	令和元年9月19日(木)午後3時30分から午後5時10分まで	
開催場所	智頭警察署 訓示場	
出席者	委員 (定数5人)	寺崎会長、小林委員、平井委員、小谷委員、九鬼委員 以上5人
	警察	山本署長、原田管理官、吉田生活安全刑事課長、野間交通課長、福田会計課長、警備課員、地域課員、警務課員 以上8人
議 事 概 要		
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 会長挨拶 智頭警察署協議会は、各委員と警察署幹部との意見交換を通じて、管内住民の安心、安全に繋がっていくものと考えている。今後も、智頭警察署と協議会委員が連携を密にして、智頭警察署管内の住民が住みやすい町づくりを目指して協働していきたい。</p> <p>(2) 署長挨拶 当署管内の治安情勢についての詳細は、別途、各担当者から説明させるが、県内の治安情勢について、治安の目安となる刑法犯認知件数が平成16年以降15年連続で減少し、特殊詐欺の被害額も一昨年と比較して大幅に減少しているところ、被害総額のなかで有料動画や有料サイトの未納料金を請求する架空請求被害の割合が高く、引き続き広報啓発活動を中心とした各種対策を推進している。</p> <p>交通事故抑止対策については、県下で21の方が交通事故でお亡くなりになるなか9月21日から「秋の全国交通安全運動」が始まるので各種交通死亡事故抑止対策を推進していくこととしている。</p> <p>本日は、協議会委員の皆さまからの御意見などを幅広く聞かせていただき、今後の業務運営に反映させていただく。</p> <p>2 業務推進状況等説明 担当課長から、令和元年度第2四半期（令和元年8月末現在）における管内の治安概況、業務推進状況等について説明した。</p> <p>委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。</p> <p>委員： 最近、あおり運転が社会問題となっているが、自動車のドライブレコーダー装着が義務化となれば、あおり運転も減少すると思う。 普通車の携帯電話使用等違反の反則金が18,000円に決まったようであるが、あおり運転となる車間距離不保持違反の反則金が6,000円であることを考えると、もう少し厳しくすればよいのではないかと思う。</p> <p>警察： ドライブレコーダーの普及に向けて、9月定例県議会で購入助成としての予算が審議されている。予算案が可決されれば、購入者に補助金が交付されることとなり、ドライブレコーダーは普及していくものと思う。</p> <p>委員： 特殊詐欺の手法も次々と新しいものが出てくる。毎月、町報と一緒に詐欺被害防止に関する広報紙を全戸配布していただいているので、管内住民の被害防止啓発に有用な手段として、住民の安心、安全に繋がっているものと感謝している。今後も継続して情報提供をお願いする。</p> <p>警察： 全国で被害があったものは、智頭警察署管内でも発生する可能性があるという危機感を持っていただきたいので、今後も、引き続き、管内住民に周知していく。</p> <p>委員： 住民の意見として「高齢者の一人暮らしが多く、気を付けて見回ってほしい」と駐在所勤務員をお願いしていたところ、積極的に高齢の一人暮らしの家庭を巡回していただき、住民からの評判も非常に良く、本当ありがたく感じている。</p>		

警察： 駐在所員の活動を評価していただき、駐在所員の励みにもなる。巡回連絡は駐在所員が管内実態を把握するための重要な業務であり、今後も継続して実施していく。

3 報告事項

担当課長から、

- ・ 昨年7月豪雨の経験を生かした災害警備対策状況
- ・ 地元高校生と連携した特殊詐欺被害防止対策状況
- ・ 智頭警察署管内主要交通規制設置状況

について、それぞれ報告があった。

委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の対応状況は、次のとおりであった。

委員： 児童、生徒の通学時間帯の通行禁止規制は、地元住民の意見を踏まえながら、子供の保護の観点から、行政、住民の双方が納得した結論を出していただきたい。

警察： 警察本部に対し智頭警察署の意見として、住民の意見や事故防止の観点を踏まえ熟考したうえで上申するところである。

委員： 記念式典で警察音楽隊の演奏を披露された。今後も交通指導などに合わせて警察音楽隊の演奏を披露していただくと、児童、生徒の保護者も集まりPR効果が上がるものと思う。また、警察署協議会として警察音楽隊の活動を住民にアピールするためにも、警察音楽隊の訓練状況の視察をさせていただきたい。

警察： 警察音楽隊は、多くの方から好評を得ており、県内各所での派遣要請に応えている。今後も管内の警察関連行事を開催する場合は、音楽隊の派遣要請を前向きに検討していく。

警察署協議会員の視察についても次回以降の協議会で実施する方向で検討する。

4 体験事項

委員は、J A F（一般社団法人日本自動車連盟）が保有する模擬衝撃体験車（シートベルトコンビンサー）を体験した。

5 その他

次回協議会開催は12月上旬頃に開催する予定である。